

# AJA HDR Image Analyzer リリースノート - v2.0

## Firmware for HDR Image Analyzer

### 全般

---

このソフトウェア v2.0 は、AJA HDR Image Analyzer の機能追加およびメンテナンスリリースです。今回のバージョンでは、HDR Image Analyzer および HDR Image Analyzer 12G の両方に対応しています。

機能および設定のガイドラインについては、インストレーション & オペレーションガイド (ユーザーマニュアル) を参照してください。最新版のドキュメントは、[www.aja.com](http://www.aja.com) のサポートページでご確認いただけます。

注記：今回は大幅なアップデートになるため、アップデート完了までに 7-10 分程度の時間がかかります。実行中はアップデート作業を中断しないようにしてください。

**注記：ファームウェア v2.0 へのアップデートの際には、末尾の“既知の問題、制限および注記”を参照ください。**

### v2.0 での新機能

---

新製品対応：

- ・ 今回のバージョンは、新製品 HDR Image Analyzer 12G の初回リリースバージョンとなり、工場出荷時にインストールされます。

レイアウト設定機能：

- ・ GUI の 4 分割画面に表示するツールをそれぞれ個別に設定することが可能になりました。よりカスタマイズされた使いやすい GUI として、ユーザー側でレイアウトを決めていただけます。また設定内容は Set up メニューで保存することができます。
- ・ 4分割画面の各エリアで、マウスの右クリックからどのツールを表示するか選択可能です。
- ・ クイックナビゲーションも追加：四分割表示毎のツール、サブツールサイクリングとキーボードショートカット

ネットワークおよびセキュリティ：

- ・ Settings > Network メニューにおいて、ドメイン名とホスト名が変更できるオプションを追加
- ・ Settings > Network メニューにおいて、Analyzer ログイン時のパスワード変更オプションを追加

## v2.0 での修正、変更および改善点

---

ユーザーインターフェース：

- ・ Settings メニューにおいて、マウスのホイールスクロールに対応して動く機能を追加

Web UI：

- ・ Web UI 経由で、ログをリモートでも削除できるよう改善
- ・ GUI 設定、QC 設定 および Network 設定画面において、ツールチップを追加（メニュー名にカーソルを合わせると、各メニューの説明が表示されます）

## 以前のリリースでの機能追加、修正点、変更点および改善点

---

### v1.1

Web UI：

- ・ 今回のリリースで、AJA Web インタフェース機能が HDR Image Analyzer でも追加されました。これにより、リモートコンピューターからお使いのアナライザーを制御することが可能になります。また他にもリモートでのファームウェアアップデートや、ログファイルとスクリーンショットの確認および転送/取り出し、さらにアナライザーのすべての設定を制御することも可能です。また Web UI では、ソフトウェアやファームウェアのバージョン、シリアルナンバー、IP アドレス、そして CPU/GPU および SDI I/O カードの温度といったステータス情報も表示されます。

REST API：

- ・ AJA の他の組み込みサーバー製品と同様に、HDR Image Analyzer も REST インターフェースを持っています。URI (Uniform Resource Identifier) は以下より参照いただけます：  
`http://ipaddress/rest/v1/state.json`.

リモートデスクトップ：

- ・ Web UI に加えて、リモートデスクトップへの対応も追加されました。これにより、RDP（リモートデスクトップ）クライアントが入っている別のコンピューターからアナライザーを制御することが可能になります。

デスクトップミラーリング：

- ・ この機能追加により、複数の DisplayPort モニターへ接続が可能になります。すべてのモニター出力は同じ解像度/フレームレートになります。

UI（ユーザーインターフェース）上での PQ 対応：

- ・ Settings > GUI Settings メニューでは、GUI 表示を SDR と HDR から選択可能です。HDR 対応の DisplayPort モニターをお持ちの場合は、“HDR10”を選択してください。

ベクタースコープの改善：

- ・ファームウェア v1.0 のベクタースコープでは、個別のポイントを確認しづらいことが多々ありました。そのため今回のリリースでは、Settings > QC メニューに “Vectorscope Aid” 設定を追加しました。

カラースペースおよび伝達特性の自動切り替え：

- ・伝達特性およびカラースペースに関する情報は、SDI 信号の VPID (ビデオペイロード ID) に載って伝送されます。アナライザーはこの情報をモニタリングし自動でアナライザーのカラースペースを設定することが可能です。この機能はアナライザーのカラースペースメニューから設定できます。( Settings > Analyzer Settings > Auto HDR mode change)

色域外最大値警告向けの色域選択：

- ・今回のリリースでは、色域外の警告を検知した際の設定が可能になります。Settings > QC タブメニューでは、Rec 709、P3、Rec 2020 もしくは none (設定無し) から選択できます。

ピーク輝度表示バーへのフレーム毎平均輝度 (Frame Average Light Level (FALL)) メーター追加：

- ・この新機能により、HDR モードにおいて映像の平均的な明るさを調べる事が可能になります。

シーンリファードモードのアップデート：

- ・シーンリファード入力の場合 (カメラログカラースペースモードの場合)、CIE xy 色域図の値は、カラースペースの原色にクリップされます。
- ・選択したエリアがイメージ上で見えない不具合を修正
- ・波形がシングルラインモードの場合に、Y コンポーネントではシングルラインが表示されない不具合を修正
- ・NVIDIA のドライバーを更新
- ・Corvid 88 のファームウェアを更新

## 使用上の注記

---

- ・ご使用時には、別途キーボード、マウスおよびディスプレイが必要です。最適な結果を得るために、UltraHD 対応の Display Port モニターのご使用をお勧めします。

## ソフトウェア再インストール時の配慮事項

---

- ・AJA HDR Image Analyzer は、工場出荷時にはその時点での最新版のソフトウェアがインストールされた状態で出荷されます。

- ・ 最新版のソフトウェアは、以下の AJA Web サイトから入手可能です：  
<https://www.aja-jp.com/downloads/category/111-hdr-img-analyz>
- ・ HDR Image Analyzer ソフトウェアの v2.0 アップデート手順は以下の通りです：
  1. **必ず事前に v1.1 をインストールしておいてください。**
  2. 上記の URL より最新版ソフトウェアの zip ファイルをダウンロードし、解凍ソフトを使って解凍してください。解凍後、フォルダ内の .ajas ファイルを USB スティックメモリにコピーしてください。
  3. USB スティックメモリを HDR Image Analyzer 筐体背面にある USB ポートに挿してください。
  4. HDR Image Analyzer のメニューで Help > Update Analyzer をクリックしてください。
  5. USB スティックメモリ内の .ajas ファイルを選択し、“Select File” をクリックしてください。
  6. ソフトウェアのインストールが開始され、インストールが完了すると "Preparation Complete, please restart Analyzer" というメッセージが表示されます。
    - ・ 注：インストールには最大 10 分程度の時間がかかります。
  7. Analyzer > Application Restart メニューをクリックし再起動を行うと、アップデートが完了します。

## 既知の問題、制限事項および注記

---

### 全般

- ・ ファームウェア v2.0 へアップデートする前に、必ず HDR Image Analyzer へファームウェア v1.1 を事前にインストールしておいてください。
  - ・ **v1.1 から v2.0 へのアップデートが実行されない場合、以下の手順をお試しください：**
    - ・ HDR Image Analyzer の GUI から、Log > Log Window Timecode > Set Time メニューへ進んでください。
    - ・ “Change date and time…” をクリックしてください。
    - ・ 日付を 2019 年 7 月 19 日に設定し、OK をクリックしてください。
    - ・ 日付変更後、再度ファームウェアアップデート手順を実施してください。
- ・ ファームウェア v2.0 から v1.1 へのダウングレードは行わないでください。もし実施された場合は、AJA サポート（本国）へ依頼をしなければいけない状態になる可能性があります。
- ・ HDR Analyzer 搭載グラフィックカードの Display Port は、お好きなポートをご使用頂けます。全てのポートは同じ解像度/フレームレートになります。
- ・ リモートデスクトップで使用される場合は、HDR Image Analyzer の GUI は必ず “SDR” に設定してください。
- ・ ドメイン名およびホスト名を変更された際には、システムの再起動を必ず実施してください。